

初夏の候、皆様におかれましては益々

ご健勝のこととお慶び申し上げます



突然ではございますが、本年より当院が心臓血管外科修練基幹施設に認定されましたため、ここにご報告させていただきます。また新年度となり、当院心臓血管外科も新たな体制となりましたので、改めましてごあいさつ申し上げます

宇治徳洲会病院 心臓血管外科 部長 小林豊

学会認定修練基幹施設とは？

以前からの胸部外科学会の方針として、心臓血管外科施設の集約化の動きがあります。日本においては心臓血管外科施設が非常に多く乱立しており、それゆえに各施設での症例数に大きなばらつきが出ておりました。症例数の少ない施設では安定した結果が出せない、少人数の施設では医師の負担が大きいなどの問題点もあり、学会主導で施設の集約化を行う方針となっておりました。

施設の集約化のために胸部外科学会では修練基幹施設の認定と専門医認定基準の引き上げを行っております。現在は認定施設で行った手術でなければ専門医の修練とは認められません。また認定施設は一定以上の継続した手術症例数や、学術的にも臨床的にも経験豊富な指導責任者の存在などが認定基準となっております。

施設の集約化で心臓血管外科領域の医療過疎が進行する地域も多く、議論の残るところではありますが、学会認定施設はその施設がある程度の基準に達しているという一つの目安になると考えられます。

当院施設認定について

これまで当院当科では施設基準を満たせず、認定施設申請はできませんでした。しかし、2012年の就任以来、院内外の先生方のご高配を賜ることとなり、安定した手術数と成績を出すことができるようになりました。国内外での学術活動も積極的に行い、個人的にも心臓血管外科国際会員となり、多数の手術経験と合わせて心臓血管外科修練指導責任者として認定されることとなりました。これらにより施設基準を満たし審査をクリアして、2014年1月付けで当院開設以来初めて、心臓血管外科修練基幹施設の認定を受けました。

施設認定を受けて

今年度は後期研修医である川上医師をチームに迎えることとなりました。若い力を得てさらに積極的な臨床医療を行っていくとともに、今後も学術、教育面を充実させていくことで自らも成長していきたいと考えております。

一歩一歩ではありますが、心臓血管外科施設としての成熟を感じながら日々の診療に取り組ませていただいております。これもひとえに、信頼いただいております患者様や院内外の先生方の支えや助けがあったのものと、深く感謝申し上げます。今後ともご指導ご鞭撻のほど、何卒よろしく願いいたします。

心臓血管外科 新入職医師挨拶

生まれ育った宇治の医療に役立てるよう努力していきたいと思えます



心臓血管外科 医師

KAWAKAMI ATSUSHI
川上 敦司

2014年4月より宇治徳洲会病院心臓血管外科に入職致しました川上敦司と申します。これまでは宇治徳洲会病院で初期研修として働いておりましたが、この度、後期研修医として当院で働くこととなりました。

私は生まれも育ちもこの宇治で、生まれ育った宇治の医療に少しでも役に立てるよう日々努力していこうと思っております。私個人としては心臓外科についてまだまだ分からないところが多いのも事実ですが、宇治徳洲会病院心臓外科としてはこれまで以上の治療の質をめざして、また、「24時間365日断らない医療」の信念に違わぬようこれからも診療を続けていこうと思っております。

至らぬところもあるかとは思いますが、先生方のお力になれるよう尽力していきますので、今後ともよろしくお願い致します。

緊急時なども含めて24時間365日、当院救急車にて医師同乗でお迎えに行かせていただいております。また、心臓血管外科疾患につきまして紹介の有無にかかわらず、お気軽にご連絡いただければ幸いです。

